

能越自動車道（田鶴浜～七尾） みちづくり懇談会のご報告 （最終報告）

PIによる住民参加の みちづくり



保存版

※PI(=Public Involvement)とは、情報を公開した上で、みんなの意見を出し合い、計画や事業に反映する住民参加の手法です。

みんなで作ろう！これからのみち！

みんなでルートを検討しました！

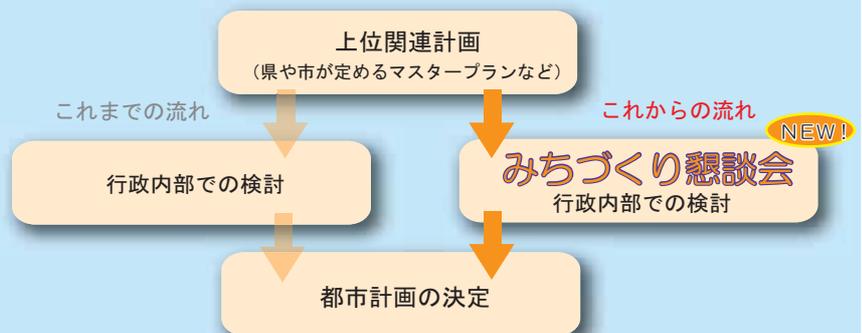
能越自動車道（田鶴浜～七尾）において、高規格幹線道路としては、全国で、はじめてのPI手法を用いたルート検討が行われました。地域住民が誰でも参加できる「みちづくり懇談会」は、平成15年10月15日に第1回目を開催し、それ以降、平成16年6月9日の第6回開催までに延べ650名の参加を得ることができ、地域住民の総意としてひとつにまとまりました。

みちづくりの新しい流れ！

一般に、これまでの道路計画は、行政内部で検討され、都市計画決定などの手続きまで地域住民に公表されませんでした。

今回は、地域住民の皆さまに案をつくっていただき、行政が技術的にサポートし、住民同士が話し合って計画案の合意形成を行っていきました。この話し合いの場が懇談会です。

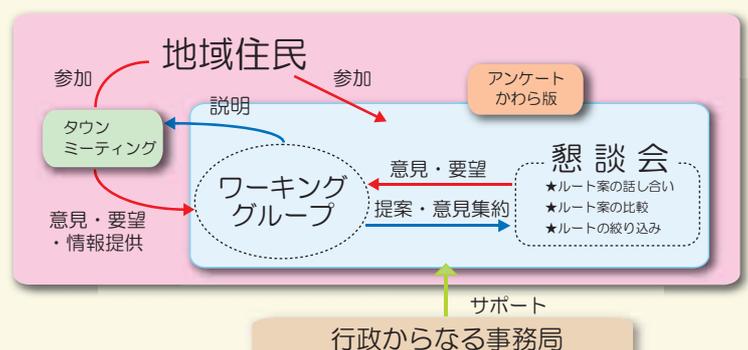
このように、計画段階の情報を公開した上で、みんなで意見を出し合い、計画に反映する手法をPI(Public Involvement)といいます。



どんなふうに検討したの？

みちづくりの検討体制は、どなたでも参加できる懇談会と、住民代表のワーキンググループが中心となりました。

懇談会の内容は、「かわら版」で皆さまに報告してきました。



	目的	対象者
懇談会	地域の住民が自由に意見・要望を発言する場で、かつ地域住民がルート案を絞り込み、合意形成を図る場です。	地域住民全体（誰でも）
ワーキンググループ（WG）	懇談会やタウンミーティングなどの地域住民の意見や要望を集約・調整し、懇談会に提案する組織です。	七尾市及び田鶴浜町の地域住民の代表8名
タウンミーティング	地域に根ざした、よりきめの細かい情報や意見・要望を提供していただく場です。	比較ルート帯（6案）沿いの7地区
かわら版	懇談会を中心としたPI検討の経緯を段階ごとに地域住民に報告するツールです。	七尾市及び田鶴浜町全戸 （町内会経由配布及び新聞折込）
アンケート	懇談会などで言い足りなかった方や参加できなかった方など、幅広い方の要望や意見を把握するものです。	七尾市及び田鶴浜町全戸 （町内会経由配布及び新聞折込）



配布したかわら版

今回のPIの特徴

1. 地域住民の代表であるワーキンググループが主体的に活動

ワーキンググループメンバーの8人の方は、能登地域の将来を考えたみちづくりについて議論を交わしたり、地域住民の意見・要望を聞いたり、地域のために懇談会のとりまとめにご尽力されました。

そのおかげで、9ヶ月という短期間で懇談会におけるのひとつの結論がまとまりました。

2. 地域主導の検討とするため、学識経験者等からなる第三者機関を設置しなかった

一般的なPIプロセスでは、進め方や公表情報に関する助言・評価を実施し公平さを保つ観点から学識経験者等からなる第三者機関を設置し、座長を中心に議論を進める場合が多いのですが、地域住民の皆さんの積極的な議論によって、懇談会を進めることができました。

3. コーディネーターとして司会業の専門家を登用

司会者は、懇談会の当日のみならず、事前事後のワーキンググループに積極的に参加していただき、円滑で和やかな懇談会の進行に務めていただきました。

★ ワーキンググループメンバーの紹介

能越自動車道田鶴浜道路の建設にあたり、地域の取りまとめ役としてご尽力された方です。
(田鶴浜町農業委員会会長)



大橋 覚さん
(おおはし さとる)

能登全域の産業、経済、観光面に精通されている方です。
(七尾市観光協会会長)



小田 禎彦さん
(おた さだひこ)

高田地区の歴史や文化に詳しい方で、地区の取りまとめ役をされている方です。
(高田区长)



大林 清さん
(おおばやし きよし)

七尾市全域の自治会の意見を聞いて、話し合いができる方です。
(七尾市町会連合会会長)



北原 久禅さん
(きたはら きゅうぜん)

長年サービス産業に従事され、現在はふるさとの杉森地区でとりまとめ役をされている方です。
(杉森区长)



腰岡 松雄さん
(こしおか まつお)

田鶴浜町代表

七尾市代表

地域における商工面等に関してご尽力されている方です。
(七尾商工会議所専務理事)



中村 康夫さん
(なかむら やすお)

地域商工業の発展のために識見と指導力を発揮されている方です。
(田鶴浜町商工会会長)



永江 英毅さん
(ながえ えいき)

女性の目から見た今後の能登に対する思い入れの強い方です。
(七尾市婦人団体連絡協議会会長)



藤井 靖子さん
(ふじい やすこ)

★ ワーキンググループメンバーの感想

- ☆ PIは、すべてのことに適応する手法だとは思わないが、住民の考え方を聞くうえで良い手法であったと思う。
- ☆ 用地買収の説明会と異なり、地域住民の関心を高めるために、様々な働きかけが必要だ。
- ☆ 道路はもう必要ないと思っていたが、懇談会を進めるうちに、能登地域にはこれからも道路は必要であると思った。
- ☆ みちづくり懇談会が始まった頃は、自分で線(ルート)を引いたり色々シミュレーションしてみたが、なかなか自分でも考え方がまとまらなかったが、この会がまとまり安心した。
- ☆ これまでのやり方は、国土交通省に陳情していたが、PI方式では地域住民の意見が提言できるため良いと思う。

能越自動車道（田鶴浜～七尾）とは？

能登の活性化に不可欠な能越自動車道

能越自動車道は、北陸自動車道・東海北陸自動車道・中部縦貫自動車道等と連携し、能登地域・富山県西部地域と東京・大阪・名古屋を中心とする三大都市圏との時間を大幅に短縮することにより交流を深め、石川県・富山県の産業・経済・文化の発展等に大きく寄与し、環日本海時代を拓く未来へ向かう新しい道路です。

- ☆ 能越自動車道は石川県輪島市を起点とし、富山県砺波市に至る延長約100kmの高規格幹線道路です。
- ☆ 現在、穴水道路や七尾氷見道路などの事業を進めています。
- ☆ 田鶴浜IC～七尾IC（仮称）間は、**能越自動車道全線の中で、唯一ルートが決まっていない区間**でした。
みなさんのご意見やご要望をお聞きしながら、みなさんと一緒にルートについて考えました。



みちづくり懇談会の司会者のご紹介



小西 敦子さん
(こにし あつこ)
学生時代からナレータとして活動を開始。TV・ラジオ・他メディアでの司会、パーソナリティ、ナレータ業のほか、講演、司会者養成などの活動を続けている。

小西司会者の感想

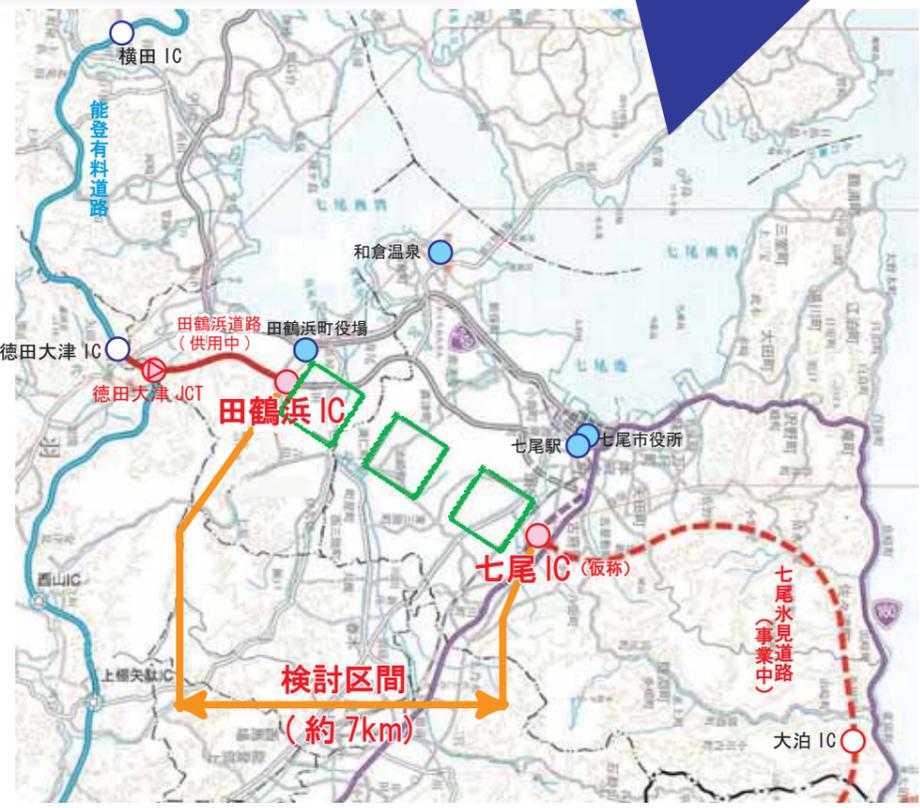
これまでを振り返ると、ワーキンググループメンバーの方々の意見でさえも揺らぎながら第6回懇談会まできているのが分かりました。でも、最後には、懇談会の場で皆さんがひとつにまとまり、ワーキンググループメンバーの皆さんが揺るぎない意志で望んだことが住民の皆さまに通じたのだと思います。そのことは、たいへんうれしく、私自身も勉強にもなりました。

様々な人が温かく見守ってくれたおかげで、無事に司会もやってこれたのだと思います。皆さんには、たいへん感謝しています。



能越自動車道（田鶴浜～七尾）はどんな道路？

- ★ 自動車専用道路であり、125cc以下のバイクや人・自転車は通れません。
- ★ 当面は2車線で供用します。
- ★ 無料の可能性もあります。



懇談会の経緯

第6回懇談会までに延べ約650人の住民参加がありました。



第1回WG (H15.10.2)

第2回WG (H15.11.6)

タウンミーティング アンケート (H15.12)

第3回WG (H16.1.15)

第4回WG (H16.2.5)

第5回WG (H16.3.11)

第6回WG (H16.4.15)

第7回WG (H16.5.18)

第8回WG (H16.6.9)

第9回WG (H16.6.14)

第1回懇談会 (H15.10.15) 94名参加

第2回懇談会 (H15.11.20) 44名参加

第3回懇談会 (H16.1.29) 99名参加

第4回懇談会 (H16.2.19) 126名参加

第5回懇談会 (H16.5.28) 149名参加

第6回懇談会 (H16.6.9) 141名参加

提言書作成!

みちづくり懇談会の進め方の説明を行い、承認をいただきました。

参加者全員にルートを描いていただきました。

6案を3案に絞り込むWG提言が承認され、絞り込まれたA~C案のご意見をいただきました。

B案とC案は、C案が優位とのWG提言が承認され、その後、A案とC案について多数の意見をいただきました。

C案をルート案とするWG提言が発表されましたが、絞り込みに向けて議論が続きました。

懇談会としてひとつの結論が出されました。提言ルートは次のページで!

地域の発展と能登の自然にやさしみちづくりを!

第1回はP1手法への理解を深めていただきました。質疑応答で発言された内容は以下の通りです。
 ☆地域の自然環境を大切にしたいルートとして欲しい。
 ☆経済効果を発揮できるルートとして、和倉温泉へ行きやすいルートにして欲しい。
 ☆できるだけ早く開通できるルートにして欲しい。
 ☆出来るだけ建設費が安いルートにして欲しい。



第1回懇談会の様子

- A案 田鶴浜ICと七尾ICを最短で結ぶルート
- B案 国道249号バイパスを利用するルート (田鶴浜ICから七尾IC間は自然への影響をできるだけ避けたルート)
- C案 国道249号バイパスを利用するルート (田鶴浜ICから七尾IC間は難関バイパスに近いルート)
- D案 高階地区を通るルート
- E案 海側を通るルート
- F案 七尾港を通るルート



第2回懇談会の様子

第2回では、参加者を9グループに分け、全員に望ましいと思うルートとその理由を記入していただきました。その結果、下図の6ルートに集約されました。このうちA~C案が多数を占めました。



※各案のパーセントは第2回懇談会でご意見が占めた割合です。

☆全6案についてWGで検討した結果「D~F案は事業費が高く非現実となるためA~Cの3案に絞り込む」という提言を懇談会で示し、満場一致で承認されました。

☆その後、A~C案について質疑応答を行った結果、意見は全線新設となるA案と、バイパスを利用するB・C案に大きく分かれました。

☆最後にWGメンバーから「3案を1つに絞り込む前にはまずB・C案を1本化したい。WGにお任せ願いたい」との提案があり、満場一致で承認されました。



第3回懇談会の様子

☆BC案についてWGで検討した結果「C案が事業費、事業期間、環境や民家への影響面からB案より優位」という提言を懇談会で示し、満場一致で承認されました。

☆その後A案とC案について質疑応答を行いました。意見はA案とC案に大きく分かれました。

☆最後にWGメンバーから「結論を立つには議論が不十分。今後もA案とC案について話し合いが必要。今後の進め方について一旦WGで調整したい」との提案があり、満場一致で承認されました。



第4回懇談会の様子

☆A・C案についてWGで検討した結果、**地域経済の活性化、自然環境、事業費、事業期間、家屋移転、地域交通への影響**などの面から、「高速道路本来の機能より、観光振興を中心とした地域経済へのメリットや能登の自然を後世に残すことなどを優先し、C案をワーキンググループの総意とする。」と発表しました。

☆A案とC案における長所・短所等の意見はいただきましたが、両案のどちらかに歩み寄るような意見は出されず、結論は次回に持ち越されました。



第5回懇談会の様子



第6回懇談会の様子

☆WGメンバーがC案に至った背景を語りました。

能登地方の人口減少問題に対する地域活性化と救急救命時における七尾市の存在から道路の在り方はC案が望ましい。今後の計画などにおいてもきちんと住民の意見を取り入れることを約束します。

目的地に早く着く道路ではなく、能登地域の観光資源を生かした立ち寄り型のみちづくりからC案が望ましい。

バイパスを活用した場合でも利用者の安全性は確保されるということと能登地域全体のことを考えると早期開通が重要であるという2点からC案が望ましい。

☆「C案を軸にして、これまでの皆さんの意見を今後取り入れながらみちづくりを図っていくように国土交通省に要望する。」という結論がWGから提案され、満場一致で承認されました。

☆事務局を代表して、国土交通省 金沢河川国道事務所 調査第二課長から、「様々なご意見があったことや提案された当該道路へのアクセス道路を、きちんと整備して欲しい。」という要望があることを関係当局に責任をもって伝えることを、住民の皆さんに約束して、閉会となりました。

みちづくり懇談会のまとめ

第6回懇談会で地域住民の総意としてひとつにまとまったことから、平成16年6月14日に行われた第9回のワーキンググループで「提言書」として以下のようにまとめました。

提 言

昨今の日本経済の状況や少子高齢化の中、能登地域における人口は2030年には2000年に比べ、約40%減少すると推定されています。そのような社会背景の中、我々が求めていることは、「心ゆたかな生活」と「能登地域における経済活性化」であります。そのためには「観光の振興」が最も重要であり、「地域への交流人口の増加」が求められています。

したがって、本検討区間のルートについては、地域を通過するための道路ではなく、「地域の発展と能登の自然にやさしいみちづくり」「観光地に近くゆったり」をコンセプトとしてまとめました。

本提言書は、懇談会の結論を受け、以下の内容を提言するものです。

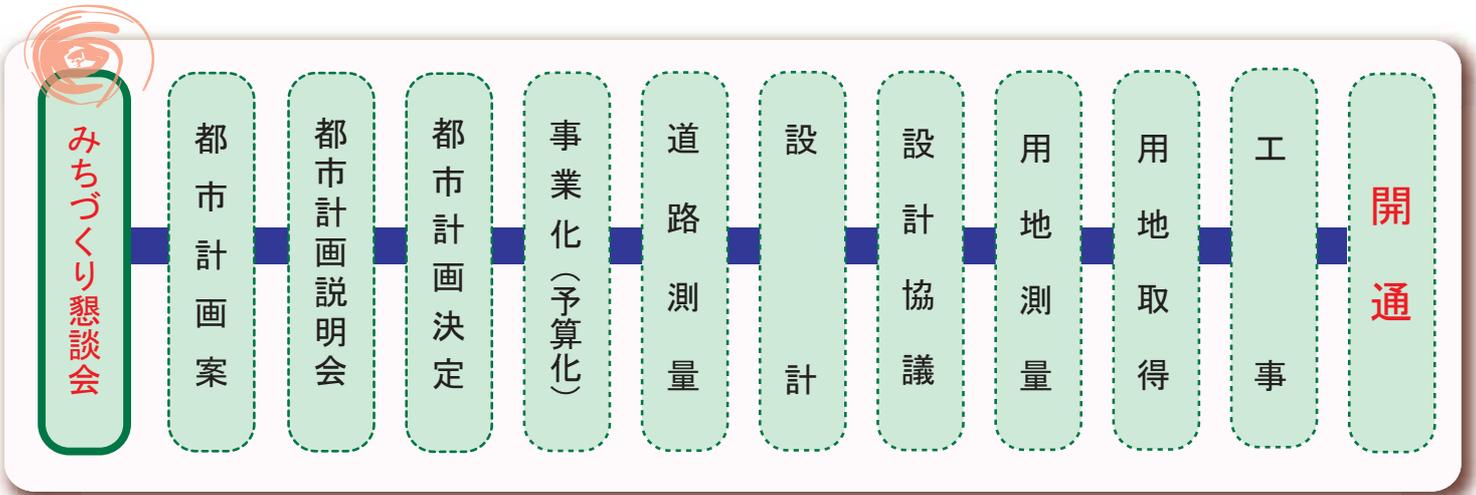
1. 少ない事業費で早期に完成できる道路とすること
2. 地域への立ち寄りが期待できる道路とすること
3. 自然環境や貴重な動植物などに配慮した道路とすること
4. 家屋移転など社会的影響が少ない道路とすること
5. 交通安全対策、自転車・歩行者等、沿道利用者への対策に配慮した道路とすること

以上を踏まえ、能越自動車道（田鶴浜～七尾）のルートについては、一般国道249号を一部活用する案を地域住民の総意として、早期にルートを決定するよう提言します。

また、能越自動車道へのアクセス道路整備等について関係機関に働きかけを行うことを併せて提言します。

これから道路ができるまで！

今後の能越自動車道（田鶴浜～七尾）ができるまでのプロセスを以下に示します。



地域の皆様の活発な意見交換と地域を
思う気持ちにより、実りある懇談会が開
催され、ひとつの結論が出ました。

みちづくりはまだ始まったばかりです！
皆さまの力でよりよい能越自動車道をつ
くりあげていきましょう！



問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所 調査第二課

〒920-8648
石川県金沢市西念4丁目23番5号
TEL: 076-264-8800(代)
FAX: 076-233-9631
E-Mail: kanazawa-chou2@hrr.mlit.go.jp



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

石川県 道路建設課

〒920-8580
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL: 076-225-1722
FAX: 076-225-1723
E-Mail: douken@pref.ishikawa.jp

七尾市 建設部能越道建設推進課

〒926-8611
石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
TEL: 0767-53-8453
FAX: 0767-53-5160
E-Mail: noetu@city.nanao.ishikawa.jp

田鶴浜町 企画課

〒929-2192
石川県鹿島郡田鶴浜町字田鶴浜り部6番地
TEL: 0767-53-8453
FAX: 0767-53-5160
E-Mail: kikaku@town.tatsuruhama.ishikawa.jp

中島町 企画観光課

〒929-2292
石川県鹿島郡中島町字中島甲部170番地
TEL: 0767-66-2341
FAX: 0767-66-1970
E-Mail: kikaku-k@town.nakajima.ishikawa.jp